

2024 年 12 月 13 日

日本建築学会  
建築社会システム本委員会 幹事会

2024 年度 大会 若手優秀発表賞の審査結果について

8 月 27 日～8 月 30 日に開催された 2024 年度日本建築学会大会（関東）において、建築社会システム部門における学術講演のうち、発表者が 30 歳未満のものから、9 題の学術講演を若手優秀発表賞審査として選出しました。

記

講演番号	氏名	タイトル
8003	佐藤 瞳	中古住宅流通の地域性に関する考察
8016	藤岡 悠人	居住支援法人による住宅確保要配慮者の住まい確保の実態 京都府を事例として
8050	大西 美波	四国地方の中山間地域における空き家の賃貸借に関する研究
8102	山本 夏希	複数の用途転用を経た建築の変遷に関する研究 建築の生涯観察分析を通して
8118	松林 優奈	米国州法における住宅地開発での HOA の初期設定と開発事業者の役割
8124	俵 健太郎	「コミュニティ大工」の活動からみた建築生産のあり方に関する研究 その 2：ワークショップ現場の価値と可能性
8150	船曳 彩香	建設技能者の技能習得に関する研究 メタ認知的言語化による技能向上
8179	津田 英俊	ハプティクス技術による VR における建築物に対する触覚の再現に関する研究
8189	市島 聡一郎	迷路解析による AGV の経路決定と移動先でのロボットのタスク実行に関する研究

審査対象者数	91
顕彰者数	9
比率	9.9%

以上